

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成24年8月30日(2012.8.30)

【公表番号】特表2012-500089(P2012-500089A)

【公表日】平成24年1月5日(2012.1.5)

【年通号数】公開・登録公報2012-001

【出願番号】特願2011-523881(P2011-523881)

【国際特許分類】

A 4 7 L 13/16 (2006.01)

D 0 6 M 15/263 (2006.01)

D 0 6 M 10/00 (2006.01)

D 0 4 H 1/542 (2012.01)

【F I】

A 4 7 L 13/16 A

D 0 6 M 15/263

D 0 6 M 10/00 Z

D 0 4 H 1/54 B

【手続補正書】

【提出日】平成24年7月10日(2012.7.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

粘着性不織シートの作製方法であって、  
 稠密化された粘着性ウェブを形成する工程を含み、この工程が、  
 かさ高回復性不織繊維ウェブを提供することと、  
 前記かさ高回復性不織ウェブに接着剤を適用することと、  
 前記稠密化された粘着性ウェブを少なくとも  $225^{\circ}\text{F}$  (  $107^{\circ}\text{C}$  ) の温度に曝露して、  
 開いた、ふっくらした形態を有するかさ高回復された粘着性ウェブを生成することによ  
 って、前記稠密化された粘着性ウェブをかさ高回復することと、  
 前記かさ高回復された粘着性ウェブから掃除用ワイブを形成することと、  
 を含む、方法。

【請求項 2】

前記稠密化された粘着性ウェブが第 1 の厚さを有し、前記かさ高回復された粘着性ウェブが第 2 の厚さを有し、前記第 2 の厚さが前記第 1 の厚さより大きい、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記稠密化された粘着性ウェブが、隣接する繊維間の第 1 の平均間隔を有し、前記かさ高回復された粘着性ウェブが、隣接する繊維間の第 2 の平均間隔を有し、隣接する繊維間の第 2 の平均間隔が、隣接する繊維間の第 1 の平均間隔より大きい、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

接着剤を適用する工程が、感圧接着剤組成物を前記不織繊維ウェブに適用することを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記接着剤を適用する工程の直後、及び前記稠密化された粘着性ウェブをかさ高回復する工程の前に、前記粘着性ウェブへの圧縮力の適用がされない、請求項 1 に記載の方法。